



1. 慶應義塾大学アントレプレナーシップ教育ホームページ公開、日吉共通アントレプレナーシップ基礎講座開講

本学アントレ教育に関連する講座情報やトピックを集約し紹介するホームページを公開しました。各学部・研究科において実践されてきた多様な教育知見を基盤に、全学的なアントレ教育の体系化を目指します。日吉共通科目としてアントレ基礎講座を開講し、好評を博しています。（4月）

2. X Dignity センター「Netflix寄附講座 アニメ平和学——日本のアニメで「平和」をつくる」開講

アニメという文化表現が持つ社会的価値を読み解き、それを通じて「広義の平和（相互理解・共感・共生を含む）」にどのように寄与できるかを探究するとともに、「対話」「連帯」「文化的レガシーの継承」といった効果を理解し、その価値を構造化して自らの言葉で説明できる力を養います。（4月）

3. UC Berkeley School of Public Health 戦略イニシアティブ担当ディレクターがCRIK信濃町を来訪

カリフォルニア大学バークレー校 公衆衛生大学院で戦略イニシアティブのディレクターを務めるJared A. Mazzanti氏がCRIK信濃町を訪れました。本学イノベーション推進本部とUC Berkeleyのイノベーション・エコシステムの取組を紹介し合い、意見交換を行うとともに、相互の好事例を共有しました。（4月）

4. 国際的な出版社「Springer Nature」CEOのFrank Vrancken Peeters氏と意見交換を実施

国際学術誌「Nature」編集長のMagdalena Skipper博士に引き続き、その版元である「Springer Nature社」の最高経営責任者（CEO）として多数の学術誌・出版事業を統括するFrank Vrancken Peeters氏が来訪、伊藤塾長と意見交換を行いました。（4月）

5. 松本洋平文部科学大臣がJ-PEAKS特色ある研究拠点「WPI-Bio2Q」を視察、塾監局で意見交換を実施

松本洋平文部科学大臣（塾員）が日本初のマイクロバイオーム（微生物叢）研究拠点であるBio2Qを視察し、最先端の研究機器に触れるとともに、健康長寿社会へ向けた新たな融合研究領域の創出をめぐって意見交換を行いました。その後、塾監局にて、「未来のコモンセンス」をつくるために、本学が取り組んでいる「学問の社会実装」や「起業家・実業家の育成」、そのための「大学経営」や「ガバナンス体制」の整備について、議論を展開しました。